

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	積載荷重小委員会		主 査 名：山村一繁 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 荷重運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：河井宏允
設 置 期 間	2008 年 4 月～2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・積載荷重について、合理的な設計のための基礎資料や考え方を体系的にまとめ、建築設計に貢献する。 ・積載荷重に関する、高度な工学モデルの構築。 ・積載荷重の説明性に関する研究。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：山村一繁(首都大) 幹事：久木章江(文化女子大) 委員：石川孝重(日本女子大)、岩原昭次(崇城大)、太田博章(竹中工務店)、高橋徹(千葉大)、寺田隆一(日建設計)、横山裕(東工大)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s23/	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 「建築物荷重指針・同解説」の改定に向け、構成・文章について全面的な見直しを開始することができた。 2. 積載荷重の非超過確率と再現期間との関係について検討を行ったが十分な結果は得られず、検討を継続することとした。 3. 積載荷重の説明性については、検討を進めることができなかった。
委員会活動の問題点・課題	1. 各委員のスケジュール調整がうまくゆかず、開催回数が少なかった。 2. ホームページの更新が十分でなかった。 3. 指針改定に向け、委員の補強が必要と考えられる。